

静岡県環境放射能測定技術会（令和5年度第1回）会議録

1 開催日・場所等

日時	令和5年6月9日（金）午後1時30分から3時30分まで
方法	静岡県庁 別館5階 東会議室
出席者	構成員：滝危機管理監代理兼危機管理部部長代理ほか15名
議事	<p>議事</p> <p>(1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第197号（案）</p> <p>(2) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料（案）</p> <p>(3) 静岡原子力だより197号（案）</p> <p>報告</p> <p>(1) 浜岡原子力発電所の現況</p>
配布資料	<p>資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和5年1月～3月）（静岡県環境放射線監視センター）</p> <p>資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和5年1月～3月）（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料3 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料4 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第197号(案)</p> <p>資料5 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料（案）</p> <p>資料6 静岡原子力だより197号（案）</p> <p>関連資料1 令和5年度静岡県環境放射能測定技術会構成員名簿</p> <p>関連資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第196号</p> <p>関連資料3 静岡原子力だより196号</p> <p>関連資料4 令和5年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画</p> <p>関連資料5 令和5年度の平常の変動幅</p> <p>中部電力報告資料 浜岡原子力発電所の現況</p>

2 審議事項

- (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書
（令和5年1月～3月）
- (2) 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）
測定機関が、資料1（環境放射線監視センター）、資料2・3（中部電力(株)浜岡原子力発電所）により測定結果を報告した。

<質疑応答>

構 成 員：環境試料（キャベツ）の平常の変動幅の上限逸脱について、平成29年から令和元年まではNot Detectedだが、令和2年から4年になるとまた平成25年ぐらいの、ある意味バックグラウンドと言っても良いかもしれないが、値が検出されている。この理由に対して、キャベツの畑はどのく

らいの大きさで、どのくらいのキャベツを採って、キャベツを採る位置は、毎回同じような場所で採るのか、それともキャベツの畑の全然違う場所で採るのか、を教えてください。

監視センター：キャベツの場所について、圃場まで一緒かどうかということは、過去の記録を見ないと分からないが、合戸地区という意味では一緒の場所で採っている。また、生産者も同じ方なので、同じような出荷基準のものができたら、連絡をいただいて採取しているので、規格というところでは同じものを採取しているという回答になると思う。

構 成 員：農場の土の中にあるセシウムの量が、広い農場だと分布に違いがあって、このような結果が出るのかと思ったので、同じような場所で採っているのか、それとも広い農場の全然違う場所で採っているのかどうかは、確認したら良いと思う。

監視センター：今手元に生データを持っていないので正確な数字は断言できないが、検出しているかどうかは、3シグマで判断をしている中で、もしかしたらその数字自身は、棒グラフぐらいのデータが出ているかもしれないが、場合によってはその振れ幅が大きいので、3シグマを超過して、統計的には検出されないとの判断をたまたましたというケースかもしれない。たしかに圃場による土壌由来というのも御指摘のとおり推定されるので、その部分と、生データをもって統計的に判断されたのか、という点を後日まとめて報告したい。

監視センター：補足になるが、キャベツの採取量は、基本的に毎回同じ量を採ることになっているが、その後の灰化处理等で微妙なずれによって試料の充填量が変わっているような可能性もある。もしその充填量が多くなっていると検出効率も高くなるので、それで検出された形もあり得ると思う。

構 成 員：キャベツは十字架植物で、当然のことながら連作障害があって、恐らく農家は、年々変えている。同じ圃場で取れたものを毎年測っているということはある得ない。そのことも教えてください。

構 成 員：池新田の松葉がまだ採れないといことだが、いつ頃から採取が可能になるのか。

監視センター：今新たに植栽されている松だが、今年度で植栽から2年目、3年目を迎えるような松だと我々は確認をしている。そのための色んな文献を確認したところ、5年程度で2メートル以上に成長するということから、あと2年後、3年後からまた採取が再開できるのではないかと考えている。また、高木した松の下枝の生育状況も色んなところからまた下枝が伸びていて、また松葉の生育が確認もされているので、適切な時期を今後検討していきながら、2年後、3年後いつになるのかは分からないが、再開していきたいと考えている。

構 成 員：松葉はあと2か所あると思うが、そちらも高木化していくと思うが、あと何年ぐらい採れるか。

監視センター：白砂については、街路樹に植栽されており、新たにどんどん植栽されているので、継続的な採取が可能だと考えている。平場についても、生育の問題は特にはないが、広範囲で植栽されているため採取については問題ないが、採取地点に行くまでの道が今ちょっと崩壊し始めていて、そういった外部的な要因があつたりするので、そちらも今後検討していく必要がある可能性はある。

構 成 員：承知した。どこか1か所が採れていれば良いと思う。

<審議結果>承認。

(3) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第197号(案)

(4) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料(案)

事務局が、資料4及び5により、浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第197号(案)及び浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料(案)を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

(5) 静岡原子力だより第197号(案)

事務局(原子力安全対策課)が、資料6により、静岡原子力だより197号(案)を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

3 報告

(1) 浜岡原子力発電所の現況

中部電力(株)が、中部電力報告資料により、浜岡原子力発電所の現況について説明した。

<質疑応答>なし。

以上